

樹木 (葉っぱ)

ハナイカダ

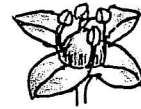
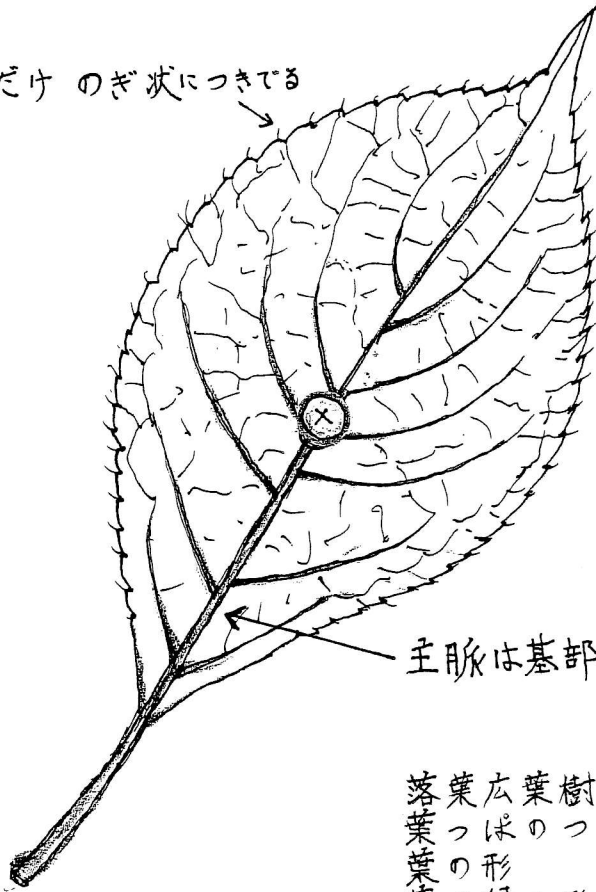
(ミズキ科ハナイカダ属)

葉の真ん中に花がつき実がなる変わった植物
 名は葉の上に花や実が乗った姿を筏に見たてたもの
いかだ

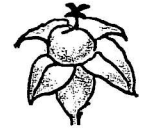
低木、株立ち樹形 樹皮は緑色で滑らか
 5~6月葉脈の中央に6ミリの淡い緑色の花をつける
 お花は数個、め花はふつう1個まれに2~3個つける
 雌雄異株(め花とお花が別々の個体=株につく)の樹木
(めいしゅ)

果実はいびつな8ミリの球形で9月ごろ黒熟する

先だけのぎ状につきでる



お花



め花



果実

主脈は基部から花の所までは太い

落葉広葉樹
 葉っぱのつき方 : 互生
 葉の形 : 不分裂葉(単葉)
 葉の縁の形 : 鋸歯縁